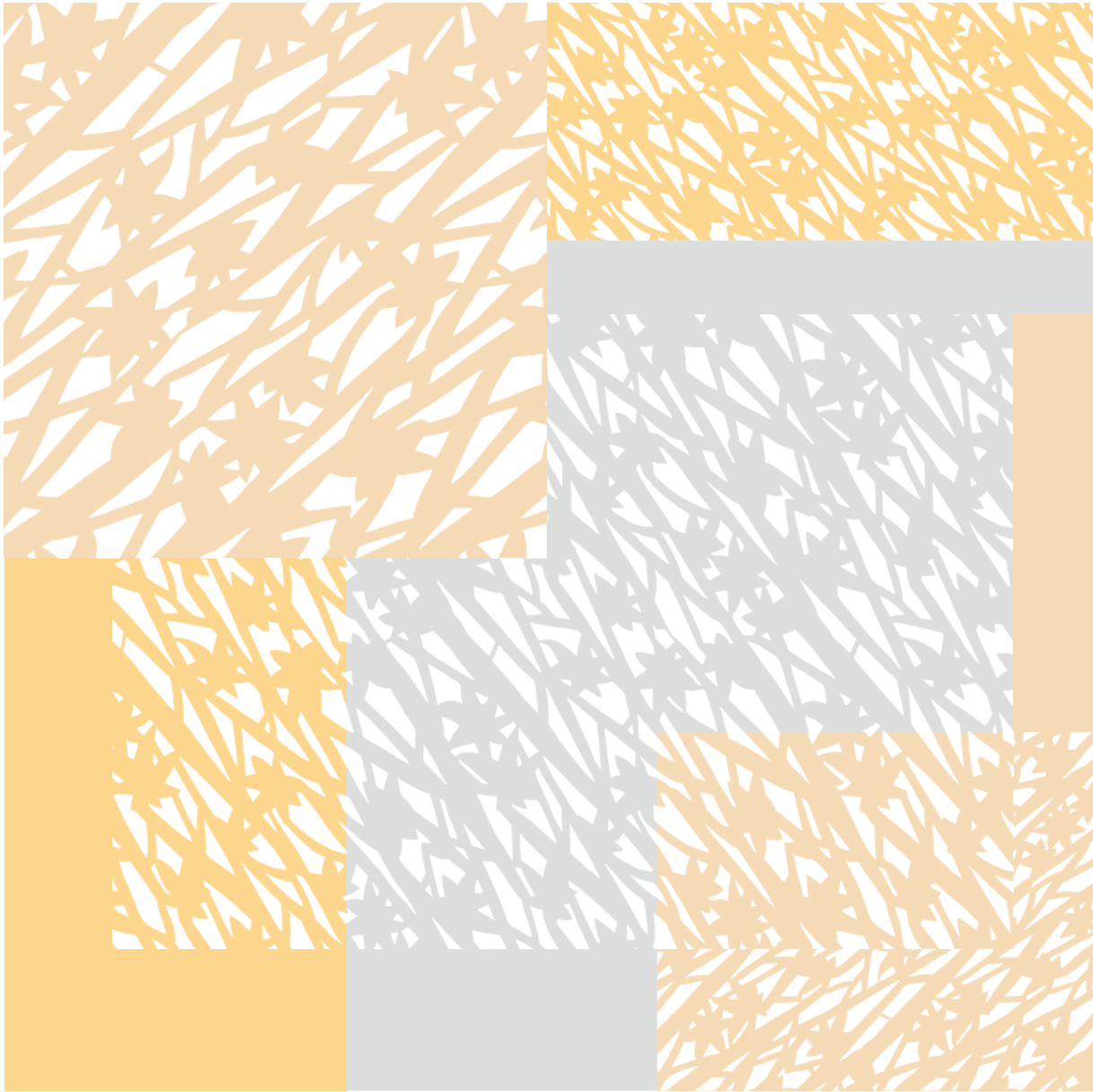


清風明月



《行事予定》令和六年九月・十月・十一月

八事山興正寺

八事の火まつり

千燈供養会

「八事の火まつり」として知られる興正寺千燈供養会は、境内に千の明かりを灯して御霊の供養を致します。本尊御宝前において真言秘奥の柴燈大護摩祈禱により、天下泰平・五穀豊穰・家内安全などを願う皆様を幸せに導きます。

十月二十六日(土)

※荒天時予備日 十月二十七日(日)

■当日の予定

千燈供養会	17:00	僧侶行列 出発
	17:30	柴燈大護摩祈禱 開始
	18:00頃	柴燈大護摩壇 点火 特別大護摩祈禱・火渡り
	19:00頃	下山

※天候等による変更のお知らせは公式サイトをご確認ください。

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。

千燈供養会に吹く「法螺貝」

千燈供養会の進列時に吹く法螺貝は、山に入る時の神様仏様への挨拶であり、始まりを知らせる合図です。同時に、魔を払い、悪いものを寄せ付けない意味合いを持ちます。

弘法大師が唱えられた修行のひとつに、「虚空蔵求聞持法」があります。虚空蔵菩薩の真言を百万回唱えると、あらゆる経典を記憶できる力が得られるとされる修行です。

法螺貝を何回でも安定して吹き続けられることに意義があると考えています。そのために、「虚空蔵求聞持法」に倣い、法螺貝を百万回吹くことを日々の中で積み重ねています。

百万回吹く。安定して吹くために。



せんじゆん 豊田 正純 僧侶

を覚えるのですか」と聞かれたことがありません。「覚えるのではなく、覚わるのですよ」とお答えいたしました。法螺貝も全く同じで、そのための百万回なのです。いつでもどこでも吹くことができのために、いつでも持ち歩いています。積み重ねることで、新たな気づきが生まれ、身に付いていく楽しみも育まれます。癖や独自のやり方も大切なことではないでしょうか。



私が大切にしていること

新しいことを見つけて、やってみる事です。手話やベトナム語を覚えたり、トランプにも興味があります。人に会うと、「何か新しいことを始めていますか」と聞くのが最近の習慣です。気づきがあり、出会いがあり、楽しみがあります。何でもやってみたいと分からないのではないかと思っています。

千燈供養会

稚児行列

日時 十月二十六日(土)

※荒天時予備日 十月二十七日(日)

進列開始/①十三時の部
②十七時の部

役稚児(①②限定五名)

巫女衣装で参列いただきます。

※興正寺の墓地に所縁のあるご家族若しくは、過去参列したことのある方。

対象 八歳~中学生の女児

祈禱料 一万三千円

授与品 御守・特別護摩木

おみやげ

一般稚児(①②各百名程度)

対象 0歳~中学生の男女

祈禱料 八千円

授与品 御守・特別護摩木

おみやげ

申込期限 九月二十一日(土)

稚児行列詳細、WEB申込はこちらから



奉納提灯

参道や柴燈大護摩壇の結界に掛けられる提灯です。奉納施主名をお書きします。



数量 限定数

奉納料 一燈 五千円

申込期限 九月三十日(月)

供養燈籠

先祖、故人のご供養をする燈籠です。参道を照らす燈明ともなります。



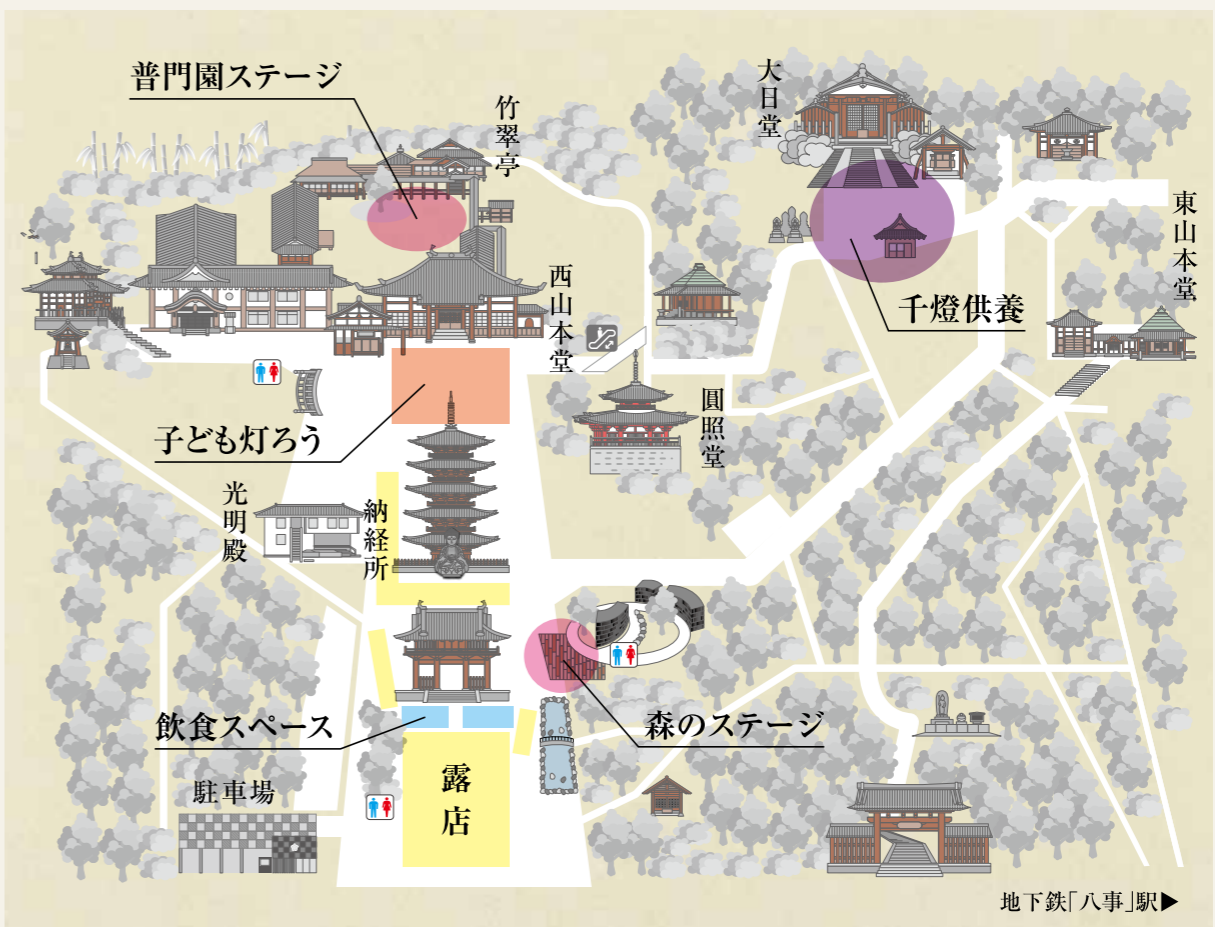
奉納料 一基 千円

申込期限 十月二十日(日)

特別護摩木

奉納料 一本一願 五百円
申込期限 当日まで受付可

千燈供養



普門園ステージ〔有料〕

日本の伝統文化を身近に体感する感動を子どもたちに。

受付 西山本堂横

参加費 千円(護摩木付)

※小学生までは無料

出演 ■ 雅楽

雅楽 松風会
松久貴郎 他

■ 居合道

無双直伝英信流 百鍵会
百鍵名古屋道場
道場長 教士八段
中野雅司 他

■ 日本舞踊 花柳流

華恵会会主
花柳恵里女 他

■ 華パフォーマンズ

フワアーティスト
空間花彩人
丹羽恵子

■ 十二単

着装・解説・体験
衣裳提供・解説
小林豊子さまの学院
中部本部 学院長
松井豊佳 他
着装 和装カジウラ
梶浦詩乃 他

子ども灯ろう

子どもたちが描いた作品が灯ろうになって並びます。幻想的な灯りをご覧ください。



対象 幼児から小学生

参加費 無料

申込「納経所」に持参または郵送宛先

八事山興正寺
〒四六六-〇八二五
名古屋市昭和区八事本町七八

詳細 七月二十一日以降に興正寺公式サイトお知らせ欄を確認ください。

露店

イベントの楽しみの一つはお店を覗くこと。飲食、物販二十を超える店舗が出店しますのでお楽しみに。飲食スペースもあります。

森のステージ

和をテーマにしたパフォーマンスを披露できるステージです。出演希望の方は七月二十一日以降に興正寺公式サイトお知らせ欄を確認ください。



七五三身体健全祈禱会

合同祈禱会日程 十一月二日(土)・三日(日)・九日(土)
十日(日)・十六日(土)・十七日(日)
二十三日(土)・二十四日(日)

※時間については興正寺公式サイトをご確認ください。

節目の歳を迎えたお子さまの健やかな成長を願う七五三。色づいた紅葉のもと、ご家族揃ってハレの日をお祝いください。

対象 平成三十年生まれ

(数え年七歳)

令和二年生まれ

(数え年五歳)

令和四年生まれ

(数え年三歳)

※数え年でなくてもお申込みいただけます

祈禱料 一万円より

授与品 御守・千歳飴・御幣

申込 ①興正寺公式サイト

②来寺 納経所にて

※要事前申込



個別祈禱の申込みも受け付けています。



〔提携フォトスタジオ〕
SNOW*IN 052-893-7528
アクエリアス 052-807-7677

奥之院大祭

日 時 十一月十五日(金) 十三時
場 所 東山本堂

特別祈禱では、阿弥陀如来様と善の綱でつないだ寺宝の五鈷杵(伝弘法大師御所持)で受者を加持し、仏様の功德を注いで魔を払い福を招き入れます。授与する護符は、興正寺第五世諦忍妙龍和尚が梵字で書かれた六字名号(南無阿弥陀仏)の版木で刷ったものです。

諦忍和尚は、歴代住職の中でも名僧といわれ、著書も数多く残されています。尾張国だけではなく、美濃や三河、遠くは奥州(東北地方)からも多くの人が訪れ、その求めに応じて加持祈禱などを修していたようです。真言宗の僧侶でありながら浄土宗にも通じており、真言宗の梵字と浄土宗の六字名号を併せた護符を授与していました。奥之院大祭の特別祈禱では、現存するその版木で授与する護符を刷っています。

年に一度の御縁ですので、どうぞ

お受けください。参拝のみでも参加いただけます。

特別祈禱料 千円(先着二十名)

事前申込可

※遙拝申込可、護符は後日納経所にて授与。

祈願ロウソク 一本/百円



緑日 [毎月]	5日 大随求明王 西山本堂 10時	15日 阿弥陀如来 東山本堂 13時	24日 地藏菩薩 能満堂 13時
	8日 大日如来 大日堂 12時30分	18日 観世音菩薩 観音堂 13時	28日 不動明王 不動護摩堂 10時30分
	13日 虚空蔵菩薩 能満堂 10時	21日 弘法大師 弘法堂 10時30分	

仏教行事	講座	普門園休園
1 (日)	一日修養会	
2 (月)		
3 (火)	遊 写経	
4 (水)	遊 きもの装い	
5 (木)	大般若経転読祈禱会 緑日 大随求明王 干支成満巡り	
6 (金)		
7 (土)	御詠歌入門講座	
8 (日)	緑日 大日如来	
9 (月)		
10 (火)	阿息観	
11 (水)	遊 きもの装い	
12 (木)	遊 茶の古典を読む	
13 (金)	緑日 虚空蔵菩薩 干支成満巡り	
14 (土)		
15 (日)	緑日 阿弥陀如来	

遊 遊翠の心

仏教行事	講座	普門園休園
16 (月)		
17 (火)	遊 阿息観	
18 (水)	緑日 観世音菩薩	
19 (木)	秋季彼岸会	
20 (金)		
21 (土)	緑日 弘法大師	興正寺マルシェ TERA-YOGA 写経写仏はじめて講座
22 (日)	興正寺施主慰霊法会 特別永代祠堂法会	
23 (月)		
24 (火)	緑日 地藏菩薩	
25 (水)	人形仏具供養会	方丈の会
26 (木)		
27 (金)		
28 (土)	緑日 不動明王	子ども寺子屋くらぶ 御詠歌入門講座 (はじめての方)
29 (日)		
30 (月)		阿息観

講座・催し
WEB申込



普門園拝観(室礼)
マルシェ茶席



秋季彼岸会

仏教では、わたしたちの生きる世界を「此岸」、生と死の境界を超えた世界を「彼岸」といいます。太陽が真東からのほり真西に沈む秋分の日には、東の此岸と西の彼岸がもつとも近づく日です。古来より秋分の日の前後三日を合わせた七日間に供養をすれば極楽浄土へいくことができます。され、先祖供養が行われます。



合同供養会

日 時 九月十九日(木)～二十五日(水)
十時～十一時半/十四時
※受付は各回十五分前まで
(所要時間四十分～五十分)
場 所 光明殿二階(受付二階)
卒塔婆 一尺 五千元/四尺 一万元
五尺 一万五千元/六尺 二万元
郵便申込期限 九月十二日(木)
来寺申込期限 当日
※卒塔婆をお書きするため、事前のお申込みをお願いいたします。当日のお申込みは、次の座でおつとめさせていただきます。

お供物

秋季彼岸会の期間中、ご先祖さまにおはぎやお花をお供えいたします。
施主名を堂内にあげさせていただきます。
奉納料 一口 千円
郵便申込期限 九月十二日(木)
来寺申込期限 当日

圓照堂の参拝について

左記の期間は、お位牌・お骨出しはできませんので、ご了承ください。
事前のご予約も受け付けておりません。
期間/九月十九日(木)～二十五日(水)

特別永代祠堂法会(招待制)

西山本堂奥に位置する霊牌殿に特別永代祠堂位牌をお祀りされている方を対象とした法会です。
日 時 九月二十一日(日)
場 所 西山本堂
申 込 別途送付する招待状をご確認ください。

人形仏具供養会

思い出がたくさんつまつた人形や長年使ってきた仏具に感謝をこめて供養します。
彼岸期間中は事前受付をいたしますので、供養したい人形や仏具がありましたらお持ちください。
日 時 九月二十五日(水) 十三時
場 所 西山本堂
供養料 一口 三千元より
申 込 供養品の受付は来寺のみです。
九月十九日～二十四日
納経所(九時～十七時)
九月二十五日
西山本堂(九時～十三時)

● 一口の目安
三辺の合計が100cm以内の段ボール箱、もしくは45ℓ相当の袋に入る程度。(大きさが100cmを超える場合は、一口五千元以上となります)
● 供養品例
雛人形、五月人形、ぬいぐるみ、御守、御札、念珠など。
ガラスケース入りの人形などは、安全の為、ケースを外し人形のみお持ちください。素材によってはお預かりできない場合がございますので、ご了承ください。
仏具は事前に電話でご相談ください。

11月

[霜月]

緑日 [毎月] | 5日 大随求明王 西山本堂 10時 | 8日 大日如来 大日堂 12時30分 | 13日 虚空蔵菩薩 能満堂 10時

15日 阿弥陀如来 東山本堂 13時 | 18日 観世音菩薩 観音堂 13時 | 21日 弘法大師 弘法堂 10時30分

24日 地藏菩薩 能満堂 13時 | 28日 不動明王 不動護摩堂 10時30分

仏教行事	講座
1 (金)	普門園休園
2 (土) 祥月忌合同供養会	御詠歌入門講座
3 (日)	
4 (月)	
5 (火) 縁日 大随求明王 干支成満巡り	
6 (水)	遊 きもの装い
7 (木)	遊 茶の古典を読む
8 (金) 縁日 大日如来	
9 (土)	
10 (日)	阿息観
11 (月)	
12 (火)	遊 写経
13 (水) 縁日 虚空蔵菩薩 干支成満巡り 天瑞いずみの会追悼法会	遊 きもの装い
14 (木)	
15 (金) 縁日 阿弥陀如来 奥之院大祭	

遊 遊翠の心

仏教行事	講座
16 (土)	御詠歌入門講座
17 (日)	
18 (月) 縁日 観世音菩薩	仏典読み解き講座
19 (火)	
20 (水)	阿息観
21 (木) 縁日 弘法大師	興正寺マルシェ/TERA-YOGA 写経写仏はじめて講座 マルシェ茶席
22 (金)	
23 (土)	
24 (日) 縁日 地藏菩薩	
25 (月)	
26 (火)	遊 阿息観
27 (水)	方丈の会
28 (木) 縁日 不動明王	
29 (金)	
30 (土)	阿息観 御詠歌入門講座 (はじめての方) 想耕茶会

10月

[神無月]

緑日 [毎月] | 5日 大随求明王 西山本堂 10時 | 8日 大日如来 大日堂 12時30分 | 13日 虚空蔵菩薩 能満堂 10時

15日 阿弥陀如来 東山本堂 13時 | 18日 観世音菩薩 観音堂 13時 | 21日 弘法大師 弘法堂 10時30分

24日 地藏菩薩 能満堂 13時 | 28日 不動明王 不動護摩堂 10時30分

仏教行事	講座
1 (火)	遊 写経
2 (水)	遊 きもの装い
3 (木)	遊 茶の古典を読む
4 (金)	
5 (土) 縁日 大随求明王 干支成満巡り 祥月忌合同供養会	菊花の室礼
6 (日)	御詠歌入門講座 一日修養会
7 (月)	
8 (火) 縁日 大日如来	
9 (水)	遊 きもの装い
10 (木)	阿息観
11 (金)	
12 (土)	いのちの修行 一日体験
13 (日) 縁日 虚空蔵菩薩 干支成満巡り	
14 (月)	
15 (火) 縁日 阿弥陀如来	普門園休園
16 (水)	

遊 遊翠の心

仏教行事	講座
17 (木)	普門園休園
18 (金) 縁日 観世音菩薩	仏典読み解き講座
19 (土)	御詠歌入門講座 興正寺月釜
20 (日)	阿息観
21 (月) 縁日 弘法大師	興正寺マルシェ/TERA-YOGA 写経写仏はじめて講座 マルシェ茶席
22 (火)	遊 阿息観
23 (水)	方丈の会
24 (木) 縁日 地藏菩薩	
25 (金)	
26 (土) 千燈供養会・稚児行列	
27 (日)	
28 (月) 縁日 不動明王	
29 (火)	
30 (水)	阿息観
31 (木)	

講座・催し WEB申込



普門園拝観(室礼) マルシェ茶席



一日修養会

「続・日本の歴史と仏教の歴史」

― 各宗派の歴史 / 各宗派祖師と中興の祖 ―

一日修養会は、読経、講座、瞑想、写経などを組み合わせて修養いたします。昨年の「日本の歴史と仏教の歴史」を踏まえて、より深く仏教の歴史を知っていくために、各宗派の歴史、特に中興の祖に注目して、組織として各宗派がどう活動し、どう変化していったかを見ていきます。



日時 九月一日(日) 十時～十四時

「臨濟宗 栄西と隠元」

十月六日(日) 十時～十四時

「浄土宗・時宗・法然と一遍」

場所 光明殿大ホール

講師 榊田英伸僧侶

支具料 一般二千円

三宝講 千五百円

※いずれも昼食付

申込 WEB受付

各回共 一週間前締切



いのちの修行一日体験

― 観音様と見つめる ―

観音堂の観音様とともに、ご自分のいのちを見つめ直してみましよう。

日時 十月十二日(土)

場所 西山観音堂

講師 榊田英伸僧侶

林直子氏

(ファイナンシャルプランナー)

支具料 四千五百円(昼食付)

持ち物 筆記用具、帽子、タオル、飲み物(フタができる容器に限る)、マスク等

当日の 十時 開式・自己紹介

流れ 読経

作務

十二時 昼食・休憩

十三時 観音法話

観音瞑想

林先生ミニセミナー

座談会

十六時 終了

申込 WEB受付(十月五日締切)



催事のご案内

子ども寺子屋くらぶ

昔ばなしを読み聞かせ。茶席のテーマはそのお話です。お道具やお菓子、点と点を繋げてお話の世界をさらに楽しみます。

日時 九月二十八日(土) 十時～十二時/十三時～十五時

場所 竹翠亭

参加費 お一人二千円

付添い 千円(昼茶付)

申込 WEB受付

(七月二十二日)



菊花の室礼 重陽の節句

五節句の一つ、重陽の節句は新暦の九月九日で祝うには残暑がきびしいので、旧暦で楽しめます。不老長寿を願って菊づくしの室礼をいたします。



日時 十月五日(土) 十四日(月・祝)

十時～十六時

場所 竹翠亭

拝観料 五百円

申込 WEB受付

(七月二十二日)



興正寺月釜

宗偏流名古屋支部

茶どころ名古屋と称されるほどに日常のなかに溶けこんでいた茶の湯。そこには人や文化の豊かな交流がありました。一期一会の茶席に集う楽しみを見つけてください。

日時 十月十九日(土)

受付 九時～十四時

場所 竹翠亭・耕雲亭

茶券 二千円(薄茶席二席)

能楽に親しむ

― 秋のやすらぎ ―

お能と呈茶でおもてなし



シテ方宝生流 内藤飛能

能には春夏秋冬、季節を感じる演出が多くあります。古来より感じてきた日本の四季、和歌や俳句に詠まれた思いや感情は現代を生きる我々も多々共感する所があります。また数ある型や動きの中で、一見止まっただけに見えるものも実は演者の苦勞や努力が隠されています。講座を通してその秘密が解るかもしれません。

日時 十月二十日(日)

十時半～十二時

場所 竹翠亭

講師 内藤飛能

参加費 三千円

申込 WEB受付

(七月二十一日)



講演会 町の景観

消えるデザイン

興正寺の境内をより自然と融合した環境にしていこう過程で欠かせないのが案内表示です。景観に溶け込む「消えるデザイン」を高北幸矢氏の講演を通じて考えます。

日時 十月二十日(日)

十三時～十四時半

場所 光明殿大ホール

参加費 千五百円

申込 WEB受付

(七月二十二日)



想耕茶会 照葉の席

照葉とは草木の葉が彩りよく紅葉して、美しく照り輝くこと。あたたかな色をした照葉の温もりを感じながらの一服をお楽しみください。

日時 十二月三十日(土)

十時～十二時

十三時～十四時

場所 竹翠亭

参加費 二千円

申込 WEB受付

(七月二十二日)



マルシエ茶席

僧侶のお点前によるお茶会です。

日時 十月二十一日(月)

十二月二十一日(木)

十時～十二時/十二時～

場所 竹翠亭

参加費 千円

申込 WEB受付

(七月二十一日)



四月

● 茶の湯体験(アメリカ)

● 茶の湯体験(オランダ、ブラジル)

五月

● 企業研修(阿息観、茶の湯体験)

(写経、阿息観、茶の湯体験、作務)

● 遠足 南山大学付属小学校

● 遠足 やまざと保育園

● 平曲演奏会

● 茶の湯体験(日本)

● 小倉貴久子ピアノリサイタル

● 茶の湯体験(スリランカ)

● 校外学習 愛知県立総合看護学校学生

六月

● 興正寺公園親子向け

森の整備体験

八事里山づくりの会

● キリム展

● 講演会 増田孝

行事のご報告

● 小さな職人たち

「もう一回やります」

説明を聞いたのはつい先ほど。恐るおそる土をコテで掬い上げて壁に押し付けてみる。竹で編まれた下地に塗れるはずだった土は、ズルリとすべり足元に落ちていく。どうやら想像したより難しいらしい。ちょっと考えようかな。素振りのおち、今日の先生である左官職人さんを振り返った。「くっ」と押し込むように、壁の向こう側まではみ出すつもりで塗ってみて」アドバイスをもらい、もう一度壁に向かう。先ほどより前傾になり、力を込め、塗るのではなく押し付けるようにしてみる。

「・・・落ちない!」

何度も繰り返しコツをつかんだのか、動作はリズムミカルになり、一端の職人のような顔つきになっていた。

令和7年春に完成予定の密厳堂は、



日本の伝統的な建築技法で建造される木造、土壁のお堂です。「建物」がどのように造られるのか、子どもたちに知ってもらう機会として土壁塗り体験を開催しました。

遊翠の心 阿息観



非日常の空間で行う瞑想

遊翠の心とは、八事の杜の大自然に囲まれた中で自分の心を自由に開放して、本来の自分の心に出会うことです。竹翠亭で行う阿息観は、日常の喧騒から離れ非日常の空間で行う瞑想講座です。

阿息観とは真言宗に伝わる瞑想の一つです。吐く息、吸う息に『いのち』の本源である「阿」の声を唱え、大自然と呼吸を合わせ「阿」の声とひとつになり宇宙の大生命を感じる瞑想法です。また、阿息観は呼吸

を中心として行い健康長寿としても効果があるため命息観みょうじくかんとも呼ばれます。

呼吸は人間の生命維持の根本です。生まれたその瞬間から呼吸は始まり休むことなく現在の自分に至ります。「阿吽の呼吸」と云う言葉があります。呼吸が、私たちはこの世に生まれてきた時、第一声に「オギャー」と口を開けて、息を「阿」と吐き出すことから始まり。そして「吽」と口を閉じて息が止まる時に最期をむかえます。生の始めから終りまで、すべての原点は呼吸なのです。

遊翠の心 阿息観講座では初心者の方でも安心して参加できるように、僧侶による指導のもと阿息観を実修いたします。阿息観を行う際は胡坐をかきますが、ご自身に合った座り方でも大丈夫です。また椅子のご準備も可能です。参加するときの服装は、身体が締め付けられないような動きやすい服装がお勧めです。ゆったりとした呼吸の中で、普段の時間を忘れ自分の心と向き合うひとときを、ぜひ体験してみてください。

講座WEB申込



講座一覧

講座名	講師	開催日時	場所	支具料	申込
住職と語らう—方丈の会—	西部法照住職	9/25・10/23・11/27 ※呈茶付き	ライブラリーサロン華宮	1,000円	予約優先
阿息観	杉浦宣秀僧侶	毎月10・20・30日 14時～16時 ※9/20休	観音堂	無し	不要
遊翠の心 阿息観	西山海良僧侶	9/17・10/22・11/26	竹翠亭	1,500円	要
遊翠の心 写経	西山海良僧侶	9/3・10/1・11/12	竹翠亭	1,500円	要
写経写仏 はじめて講座	榊田英伸僧侶	毎月21日マルシェの日	光明殿 大ホール	1,000円	不要
御詠歌入門講座	鈴木智弘僧侶	9/7・9/15・9/28・10/6・10/19・11/2・11/16・11/30	光明殿 小ホール	無し	不要
仏典読み解き講座	榊田英伸僧侶	毎月18日 9/18・10/18・11/18	光明殿 大ホール	無し	要
遊翠の心 茶の古典を読む	榊田英伸僧侶	9/12・10/3・11/7	光明殿 大ホール	1,000円	要
遊翠の心 きもの装い	竹翠亭職員	第1・2水曜日 初級(10時～12時)、応用(13時～15時)	耕雲亭	2,000円	要
TERA-YOGA	西口のぞみ	毎月21日 10時～11時半／13時～14時半	観音堂	2,000円	要

お知らせ

令和6年3月末日でフリーダイヤル廃止、今後は【052-832-2801】へおかけください。

令和6年4月より「輪蔵復元調査」を開始、普照殿1階ホールで進捗見学できます。

令和6年4月より祥月合同供養会の会場が光明殿2階に変更となりました。

